

作成日：2025 年 5 月 12 日

大分中村病院で実施された「排尿症状が労働機能におよぼす影響」に参加された方へ

産業医科大学でこれから行う研究は、大分中村病院で 2019 年から 2020 年に行われた「排尿症状が労働機能に及ぼす影響」で得られたデータを使用し、データ解析や論文執筆の予定です。大分中村病院から提供を受けるデータはすでに個人が特定できない状態に加工されており、研究にご協力を頂いた皆様から同意撤回がある場合に限り大分中村病院と連携し対応致します。同意撤回の申し出があった場合には、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」に基づき、データの提供元である大分中村病院と連携・協議の上でデータの削除やその他の対応方法を検討致します。

本研究に関するお問い合わせ、またご自身の情報の利用を希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

今回の研究は、

1. 研究課題名

大分県の就労褥婦を対象とした産後 1 年における尿失禁の概要と労働機能障害の評価

2. 研究期間

西暦 2025 年 9 月 11 日から西暦 2028 年 3 月 31 日まで

3. 研究機関

産業医科大学

4. 研究責任者

産業医科大学 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸

5. 研究の目的と意義

産後の尿失禁は日常生活や生活の質に影響があることが知られています。しかし、産褥の女性が復職する産後 1 年の時点で尿失禁がどのように仕事へ影響を与えているかを評価した研究報告はありません。今回の研究では産後 1 年時点の尿失禁の有病者の割合や尿失禁の概要を評価することに加え、復職している女性の就労への影響として労働機能障害を評価することを目的としました。

産後の尿失禁と就労への影響を評価することで、尿失禁で悩む女性に対して復職前の予防策の必要性や予防策そのものを教示することが期待できます。

6. 研究の方法

大分中村病院倫理委員会で2019年3月に承認された「排尿症状が労働機能におよぼす影響」アンケート調査（大分中村病院倫理委員会承認 第30-12号）のデータを使用し、2020年3月までに取得された582名の対象者のデータを使用します。上記データは大分県産婦人科医会に所属している施設で分娩した女性を対象に研究の説明が行われ、書面による同意書が取得されています。

取得されたデータは、分娩時の年齢、妊娠・分娩歴、身長、体重、分娩週数、分娩様式、新生児体重、産後12か月の尿失禁のスコアリングである International Consultation on Incontinence Questionnaire-Urinary Incontinence Short Form (ICIQ-SF)、仕事内容（デスクワーク、コミュニケーションワーク、フィジカルワーク）、労働影響のスコアリングである Work Functioning Impairment Scale (Wfun) です。個人を特定できる情報を含まないように加工し、産業医科大学で分析します。

7. 個人情報の取り扱い

氏名や生年月日などの個人情報はすでに削除されており、個人情報の漏洩を防止する措置が取られています。この研究で得られたデータは、原則として資料（数値データなど）は、当該論文等の発表後10年間保存します。その後、研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、情報が復元できないように消去・廃棄します。

また同意が撤回された場合でも、参加されたお一人おひとりのデータの削除ができない可能性があります。同意撤回の申し出があった場合には、データの提供元である大分中村病院と連携・協議の上でデータの削除やその他の対応方法を検討します。

8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

9. 問い合わせ先

産業医科大学 医学部 産科婦人科学 助教 金城 泰幸 (093-691-7449)

10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。